日刊（除月曜）　昭和21年6月1日第三種郵便物認可　昭和24年2月23日運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　昭和26年8月22日（水曜日）第1612号

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

—平活字—
いわき民報は郷土唯一の扁平活字採用紙です 読み易い活字は鮮明な印刷と共にみなさまの眼を護ります 御購読をおすすめします お申込みは直接本社へ！

夜間の浪費甚大

断水、貯水の成績判る

二十日から三日間、毎日午前一時から午前五時まで実施中の平市内の断水による貯水は第一日目の成績は断水しない日より約三倍の貯水が出来て好成績を示し平常はこの差の量だけが浪費されていることが判つた

この日平消防署、団員など三十名大塚土木課長ら六名が徹夜で出動火災時の体制をとり、市内八カ所の消火栓には係員が配置され断水時の火災発生の際の流水時間は試験の結果五、六分程度と判つた、この三日間は各町内の火防班、青年団員が協力、火災警報下の体制をとる、断水の結果は八幡小路の貯水池は平常は上の貯水池（八八三九石）が一尺五寸から多い日で二尺の水位が六尺八寸に増水、下の貯水池（七四三三石）二尺五寸位が五尺と平均三倍増水した

井上消防署長談＝平均三倍の増水になつたことはこれ迄夜間に風呂水をくみ放しにするとか浪費が甚だしい事を認められる、市民が浪費しない様に協力すれば水不足だと市民は騒ぐ必要がない、断水日に火災があつても心配はないが出来るだけ断水しないで市ばかりに頼らず済む様に協力してもらいたい

二日目も三倍に

断水二日目の二十一日は午前一時から午前五時まで普通の日より七千百十石も増水前日とほゞ同じく三倍だつた

水道料金一割値上へ

平市水道委員会は去る十八日午後一時から開き、二十日から三日間実施した断水対策につき検討したほか、水道料金の一割値上げその他左の条件を協議決定した

水道料金改正

最近の物価高で鉄管、鉛管等の値上りや人件費の増嵩により財源難を来しているので各種の水道料金を平均一割値上げする、その資料を早急につくり上げ物価庁に値上許可の申請手続きをとる、この値上げにより年間約百万円の増収となる、これは本年度分鎌田山上水道拡張工事費七百五十万円のうち起債四百万円に対し三百万円しか許可にならず残る百万円をこの増収で幾分充当する、現在一立方米普通計量で六十円で福島市の七十円より安い

水道係を増員

水道係は人員が少く市内のメートル点検は現在二名だけで、この二名はほかに集金もかねているので三重の負担を背おつており、市民へのサービスが出来ないので集金員一名を増員する

配水管を増補

城山、稲荷神社周辺の町民から先に陳情中の水道敷設は工費四万円で早急に増補する、鍛冶町西部町民から陳情中の水道敷設に対しては約三万円の工費で八幡小路の高架水槽から引水する、白土区域から陳情のある水道敷設に対しては鎌田山上水道工事完了後に実施する

重軽傷七名

三和炭鑛で事故

二十日午後三時半ころ山田村字法田三和炭[illegible]索道の終点でロープを[illegible]め『カグラサン』で引張つていたが、カグラサンの心棒がすれてロープはふつ飛び附近にいた労務者館止夫さん（三）ほか九名がはね飛ばされ五名が全治二週間の傷害、軽傷者二名を出した、東京鉱山保安監督部平支部の鈴木監督官が出張、事情を調べている

跨線橋など調査へ

國鐵の西坂次長らあす來平

国鉄本庁営業局西坂次長ら一行五名は二十三日平管内視察のため来平する、平営業所では過去一カ年間の事業報告、重要懸案であるガソリンカーの運転復活、平駅跨線橋、常磐線電化問題などについて実態調査する

光寮の移轉方を要望

県民生委員会副委員長塩県議は二十日午後一時半来平、馬目県議、千葉社会課長、長谷川教育課長、地方事務所本多主事と平市田町盲聾学校『光寮』の移転問題に就き協議、現地視察を行つた、地元では現在の光寮を元の平陽女学校に移転したい意向を要望、その為市所有の元平陽女学校と県所有の光寮を交換、県が元平陽女学校を改築して早急に理想的に改築移転する様強力に陳情した

競輪報告書 (5)

野澤むさし

想うま

平競輪が運営されるまでの建設関係予算関係など詳細報告した。次いで第六回までの運営経過、即ち競輪実績を説明したい。

（別項数字参照）

第一回目二月の競輪は入場者一万六千という最高の数字を示しながら、車券の売上げ僅かに八百六十九万円也、理事者及び競輪担任者が当初予定した一回六千万円に比較し、あまりに甚しい差額に当事者は勿論のことであるが、全市民も唖然とした。云うまでもなく百九十三万円という赤字を出すに至つた。このように入場者の割合に車券の売上げの尠なかつた原因は始めての催しであり一般の興味を集めたが、車券の買い方も知らず、見物人が多かつたということである。二回三回と回数を重ねる毎に入場者は減じ、反対に車券の売上げは毎回増加の傾向をたどつている。

入場者と車券の売上げを平均して見ると、第一回目は平均一人当り五百六十三円、第二回千四十一円、第三回千四百五十六円、四回目二千八十八円、五回二千八十四円と漸増し、第六回目には三千二百八十円とハネ上つている。このように入場者が減じて逆に売上げの増加を見ていることは、競輪玄人がふえて来たことに依る。悪くいうと追い目に成つて高潮したことを物語るものである。会津若松の例を見ても、当初は相当悲観されていたが漸進的に売上げを増し最近では殆んど黒字続きのようであるが、入場者一人当りの平均売上げは最高二千五百円程度に上つて居り、玄人筋は平競輪の前途有望の折紙をつけているようだ但しこれは飽まで予想である。とらぬタヌキの皮算用は危険である

第七回目の八月競輪は二千三百万円を超える最高の売上げを示し目下集計中であるから決定的ではないが、恐らく五、六十万円の黒字を見ることであろう。然し、今回は七夕祭と旧盆という最善の条件にめぐまれている。炭鉱界も農家も全体であつたから、今月の記録がそのまま継続されるとは考えられないし、今後の基準にはならぬであろうが、今月の運営に依つて、多少なりとも前途に光明を見出したことは幸いであつた。今回の競輪で無料バス二台運行し、アマチュア自転車競争を施行するなどサービスに努めたことも入場者吸収に大きい役割を果している。常磐交通が全面的に協力し、バス二台貸切りで一日八千円という犠牲を払われたことも附記して置く

（次号経理面解説）

平競輪實績調べ（八月十五日現在）

回数	入場者	売上金	市收得金	振興会交付	國庫納付	損益
第一回	一六・一五〇	八・六九〇・三〇〇	二・〇八六・三二〇	二三〇・七九九	—	▲一・九三〇・四四〇
第二回	一三・三六六	一三・九四四・二〇〇	三・四四四・九三〇	四一八・〇三六	—	▲一五五・三六二
第三回	一二・二二七	一七・八一七・九〇〇	四・四二六・三八〇	五四四・三三七	三一九・四四四	十五三九・九三七
第四回	八・四四一	一七・六六六・四〇〇	四・三九四・一二〇	三三九・八九二	一六五・〇八	十一三・六六三
第五回	七・三三九	一五・二五四・一〇〇	三・七六二・一九〇	四四七・五五三	—	▲四九・八〇六
第六回	五・八二七	一八・九七四・一〇〇	四・七五四・三三三	五六九・一九二	—	▲二〇三・四四七
計	六三・四四〇	九二・三四七・〇〇〇	二三・八六九・三二〇	二・七七〇・一二〇	四八四・四四三	▲一・六五四・八八八

兩競輪選手毆らる

加害者二人釋放さる

第七回平競輪に出場していた神奈川県仲郡二宮町競輪選手神保忠士君（三）は十八日午後十一時四十分ごろ平市福住旅館前で夕涼みしていたところ、泥酔して通り掛つた平市北目町無職菊地三良（三）同堤の内日雇深谷利勝（二〇）等にさ細なことで袋だたきにされ左脚部にサイダービンで全治十日間の傷を負わされ仲間の殴られるのを見兼ねて仲裁に入つた神奈川県出身の競輪選手加藤一二君（二五）も顔面を殴られ左眼に全治一週間の傷を負わされたが神保選手も反撃を加え菊地等をノバシて了つたので菊地の親分が馳せつけるなど旧盆十七日の夜だけに大騒ぎを演じた、両選手は実川、明雲堂両医院で手当てを受けたが加藤選手は左眼の充血ひどく遂に競輪最終日の十九日は欠場、神保選手は負傷をかくして最終日の第十レースA級選抜二千四百米に出場したが八着となつた、平市署では同夜菊地等を泥酔者として保護検挙したが翌朝帰宅させた

宇佐見平市署長談＝騒ぎのあつた当日私は福島に出張していて不在だつた、次席からの報告では両者を呼んで事情を聞き訓戒を与えけんか両せいばいといつた形で白紙に戻し競輪最終日の十九日レースが終つてから自転車振興会や競輪関係者が仲に入つて手打ちをさせ円満解決をしたそうだ、どちらが先に手を出したかは不明で両方とも酔つていたのでさ細なことから乱斗となつたものらしい、選手が平を発つ際復しう戦でもなければよいがと心配したが何事もなかつた

福住旅館談＝私共の前でけんか騒ぎのあつたのは事実です、向いの炭屋旅館に泊つて居た神保選手が私共の涼み台に遊びに来ていて殴られたのでうちに泊つていた加藤選手が仲裁に入つたところ顔面を殴られ眼が充血してしまつて次の日は欠場して寝ていました

自転車振興会副委員長鈴木弥太郎氏談＝さ細なことで選手に負傷させてしまつて申訳ない、最終日のレースが終つてから神保選手を連れて菊地君の親分のところへわびに行き両君に握手をさせて仲直りさせた、今後はこの様な不詳事のないようによく注意します

二人組の强盗

木刀で立向われ逃走

二十一日午前一時四十分ころ平市古鍛冶町二六質屋端山正男（六九）さん方に二人組の賊が侵入、就寝中の家人に懐中電燈を突きつけたが同宿の端山さんのオイの荻野寿永（三）さんが木刀を振りあげて『なにお』と打つてかゝつた所賊は裏口から逃走した

賊は便所の窓から侵入したもので同家は端山さん老夫婦とオイの荻野さんが同居しており夜は何時も用心のために布団の側に木刀をおいて寝ていたため災難をまぬかれた

觀音様祭典

假装盆踊り大會で賑う

湯本町睦会主催観光協会後援十一回観音様祭典は十九日行われ二万の人出で賑わつた、夜は夏祭り仮装盆踊大会と宝探しがあり参詣者の興味をひき審査の結果左の通り入賞した

仮装一等舌切り雀（湯本町青葉照井市太郎）二等桃太郎（磐崎村上湯長谷字長倉遊佐文男）三等烏天狗、四等観音様、宝探しは睦会三久デパート共催で行われたが五百六十三名の応募者中正解者は湯本町三函常磐電気株式会社湯本支店勤務鈴木康弘さん一人で問題は町政参与の人とポルトゴードのマニフアクチヤ三久デパート真星の真空の個所等

玉よし女将寄附

平仮装盆踊りで二等に入選した南町の玉よし女将関口ふくさんは千五百円の賞金を貰つたので全額本社を通じ市社会事業に寄附した

轉落し水死

小名浜町船引場高橋友吉さん方漁夫田村幸栄さん（四五）は二十一日午前一時頃めいていして同港魚市場前に繋留中の自船に乗り移ろうとした処過つて足を滑らし海中に転落水死した

磐農高に賊

植田町県立磐農高校（校長小池元吉氏）では去る十六日から十七日までの間に職員室から野球用グローブ八つ、柔道着四着、衣類三点など三万円相当を盗まれた

交通公社移轉

日本交通公社平案内所では二十一日新営業所平市三丁目大丸百貨店内へ移転直ちに従来の営業を開始した

天気予報

二十一日

【今晩】南の風、宵のうちはところにより夕立模様となるが大体良い天気

【明日】南東の風、朝のうちは曇多く間もなくよい天気となりムシ暑くところによりにわか雨、海上はたい風の影響が弱まり今後数日は穏かな見込み

県立公園 植田海岸地曳網
水浴 砂浴 海水浴 魚釣 貝漁 キャンプに!!
愉快だ！うまい！安い！御来遊は二日前に
至急は駅前若松屋旅館（電五三）へ!!
植田海岸 鮫川誇揚會 鈴木林

八月二十五日より五日間
夏物總ざらえ 驚くほど安い絶好のお買徳品
見切品、思い切つた値段、是非御來店の程を
平三 三井呉服店 TEL 284 1248

胃腸科 外科 泌尿器科
平市南町（公會堂通）電話一一九五番
眞木醫院
眞木光邦

暑中御伺い申上げます 昭・26・盛夏

縣會議員 澤田源次 田人村（電話八番）

川部村農業協同組合

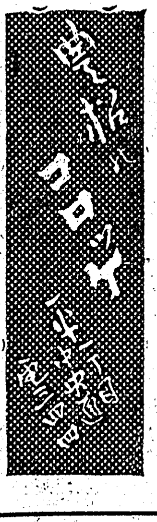
福島日米石油株式会社 植田營業所
平塩業合名会社 植田貯蔵所
鐵屋商店
植田町 電26番

酒は稲萬歳

磐城通運株式會社 勿來營業所

株式会社山形組勿来営業所
土木建築業 家具建具業 防音セメント業
山形タカシ
本社 東京都中央区 勿来町関田北町電一四〇

壽
來る二十三日は店員慰労のため休ませて頂きます
壽百貨店
平駅前電656



夏日つれづれ草（下）

五十嵐雄之

精力と長壽

一般に、不老長寿という熟語が通用し不老即ち暦の上では年をとつても身心は老い朽ちない、年に比較して若々しい、そして一方には性的に老衰しない、これが同時に長寿と一致するように解釈されているようである。勿論長寿者が同時に精力家である場合もあるが総ての長寿者が必ずしも精力家とばかりは言われない。これに就ていささかだ弁を弄して説明することとしよう。

今日では一般の医学的常識となつていて誰でも知つていることに婦人の更年期障害ということがある。閉経期前後に見る婦人の全身的違和の状態で之れは卵巣機能の衰退或は停止から起る所の性線ホルモン不調和が原因とされている軽重の差こそあれ全ての婦人が経験する所であるが短かきは数カ月長くて二三年たつと体の内部は再びつり合のとれた調和状態に立戻り、老年期の生理に落付て来る、しかし全身就中性器には老年性の退行現象が現われ性線の活動は消失しいわゆる老婦人なる状態となる。だが他に疾病がない限り爾後の長い生命を保つことは出来る。しかも統計の示す所によれば世界的に長寿者は婦人の方に多いことを注目していただきたい。

ところで男性の方はどうであろうか。九月号の文芸春秋に日本医大の木田文夫教授が『男の更年期』という一文を載せている。女にあるものは男にもある。女に更年期があるからには男の更年期もある、只女のそれの如く早く且つ激しくないので、男の更年期障害はいわゆる老衰と混同されて過してきたのだと説明している。そして女が更年期を境に性的に急に無能力者となつてしまうのに反して、男性では早くて五十代大体六十代人によつては七十代若くは八十才になつても性ホルモン腺の活動が止まらず、キンゼイ報告書によると男子が性的にすつかり無能力になつてしまう人の頻度は六十才では百人中五乃至十人、七十才で約半数、八十才にして尚正常の性交を行うことが出来る者もあると。かように性的の寿命が長い男性が長生きという点では概して女より劣つていることは世界的に統計の示す所であつて長寿と精力とは必ずしも一致しないことが理解されると思う。

性的能力の旺盛と否とを木田教授は酒豪と下戸とに当てはめて説明している。即ち精力家は大酒家の如く三日にあげず一升を平げる一方五十代で性的無能になる人は宛も下戸のようなものである。だが精力家でも無能者でもそれほど密接に生命能力に結びついた特徴ではないといつている。

長生ということから見れば性力無能者必ずしも悲観すべきでなく精力家又必ずしも楽観を許さないといえる。だがお互いさま長寿長性が好ましいといつても性的無力で只食い只呼吸しているだけでは面白くない、矢張り性的にも活ぱつでありたいというのが腹を割つての本音である。そこで色々の若返り法若返り薬が求められた次第である。

女の更年期障害には卵胞ホルモン下垂体ホルモン等の性腺ホルモンが可成り的確に奏効しつゝあることは我々の日日経験する所である。がさて男性の方になると中々むずかしいようである。

男性への人工青春の操作が一時的には効を奏しても後でグツと老け込んで一層みじめな老衰を増すことを警告した学者がある。かゝる附焼刃でなく本当の若返り法は無いであろうか、遺憾ながら未だ無いというのが本当だ。陳腐ながら環境衛生特に精神衛生に注意して明朗快活な気分で過すより他に良い手はないようである。私が医学的自然主義者たれと友人に勧めるのはこゝに根據を置くからである。（一九五一、八、一七、筆者は医博）

南からクラゲの大群 海面一帯を覆う

漁労出來ず業者ら悲鳴

四十年來の珍現象

今年の春以来小名浜近海に押寄せていた〝クラゲ〟の群が最近特に数を増し漁業家も悲鳴をあげている—このクラゲは暖流に乗つて南から北上して来たものだが直径七・八センチ程度で白色、フワリ〳〵と波まかせに流れて歩く風来坊、小名浜近海では流石の海水も白色に変る程おびたゞしい数に殖え恐らく数百億以上の数だろうという、小名浜湾内は勿論海水浴場にもはん濫、バナナの皮を踏んだようにクラゲを踏んで転ぶ者もいる始末、網を使用する揚繰船、棒受船は勿論地曳もクラゲが大量に入るので仕事にならずイワシ四、五十貫に対しクラゲが一万貫以上も入るという意地悪さ、トコロ天のようなクラゲが入つてどうにもならず網を破られる船も続出、これでは商売にならぬと業者もサジを投げた格好、業者泣かせのこのクラゲは食用にもならず肥料にもならず太陽に当てると自然にとろけるという代物だ、ハマの古老の話では四十年程前には八月過ぎごろクラゲが来たものでそのときはクラゲの居ないところを選んで魚を漁つたものだが今年のように海一面がクラゲのはん濫で商売にならぬということは今まで[illegible]いたこともないと説明しており恐らく南風が続いたので南から北に流れる表面海流でクラゲが流され小名浜近海に集つたのとクラゲの繁殖によい水温になつていたために陸上のイナゴの大群ならぬ海のクラゲの群がにわかに多くなつたものだろうと見られている

朝原教授招き教育大會

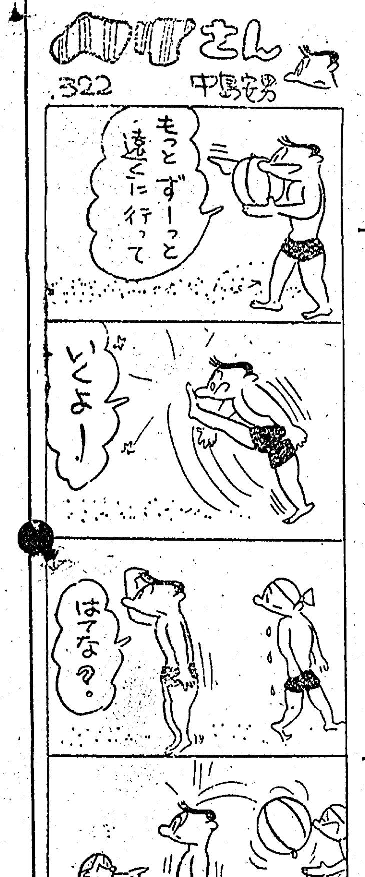
廿五日開く

第六方部（内郷地区）教育大会は二十五日午前十時から内郷町高坂小に東洋大学教授朝原梅一氏を招き教育心理学に就いての講演会を開き後次のテーマに就き研究懇談を行う

▼新教育はいかに批判されいかに建設されなければならないか▼民主教育を築くために教師と子供の生活はいかに守らなければならないか▼社会教育の上に横たわる諸問題の打開策はいかにすべきか等

田丗町歩に鹽水冠水

十九日石城地方事務所農業改良課に入つた情報によると十八日夏井村下大越地内約三十町歩の水田に塩水が冠水した、原因は川の水量が少ないため海水が逆流して来たもので被害状態は不明


さん
322
中島安男
もっとずーっと遠くに行って
いくよー！
はてな？。

民生助成會

平市民生事業助成会役員会は廿二日午後二時から市役所会議室で開き母子援護資金貸付者決定について、年よりの日（九月十五日）の行事計画などを協議する

自轉車泥送檢

植田町字小名田四〇安畑寒一（二〇）仮名は去る六月八日植田町の時計商佐藤喜久男さん所有の自転車一台（時価六千円）を窃取し翌九日錦町仲田に居住の正木茂男さんに六百円で売り飛した事がばれ二十日身柄送検

千五百米に小形君優勝

〝働くもののスポーツ祭典〟健保

第四回勤労者陸上競技大会は全国から千百卅余名の陸の強豪を集め十八、九の両日県営信夫丘競技場で開かれたが、男子千五百米に出場した常磐炭鉱の小形清美選手は四分十二秒二の好記録を樹立、優勝した

小川青年連盟が優勝

盛會裡に農青振興大會終る

石城郡農協組青年連盟、県教指連共催の農青連振興大会は十八日午前九時から平市公会堂日本間で百名が参集して開き農業青年の研究体験の発表があり、審査の結果次の入賞者が決まつた、なお大会後石城農業会館会議室で反省座談会を開き大平県議と膝を混じえ農政に関する意見交換が行われ盛会のうちに同五時閉会した

▼一等一席『私の営農十カ年計画』大森美二（小川）▼同二席『我が部落の協同運営について』鈴木喜一（勿来）同三席『農青連の足跡と将来』鈴木忠直（小川）▼二等一席白石政保（小川）同二席金成義雄（勿来）▼同三席蛭田義治（勿来）▼三等一席金成通（勿来）▼同二席園部太一（川部）▼同三席角田富雄（上遠野）▼団体賞 小川村青年連盟

はいから

腹痛に苦もんする同僚を置去りにしたまゝジャンガラ念仏行を続けたジャンガラ隊が目撃者達の非難を浴びている、十七日夜好間村下好間字叶多一三七小敷沢一男（二〇）君は部落の青年達にまじつてジャンガラ念仏行に平市を訪ずれたが、八時頃から腹痛を起し市内十五丁目地内で激痛のため歩けなくなつたが、ジャンガラ隊はそのまゝ同君を置き去りにして行つてしまい見兼ねた通行人が平市署に連絡同署で手当を加え帰宅させた、仏の供養をするジャンガラ隊が同僚を見捨てるとは…と非難ごうごう

ラジオ

JOCP JOHQ

ローカル 平放送（22日）

前[illegible]早起鳥『水産試験場便り』と水産気象』県水産課提供 前七・[illegible]あぜみち通信『秋肥料の準備』県農政課提供 前一〇・[illegible]夏休ラジオクラブ安積郡三和小児童 後二・〇〇夏休ラジオクラブ若松女高生徒 後[illegible]子供の時間 後[illegible]ふるさと物語郡山放送劇団

闘争組の辯護人辭任

依然喧騒第二回公判

平事件徹底斗争組第二回公判は二十日午前十時から山田裁判長係で地裁平[illegible]二十一被告出席で開かれた

この日、斗争組の主任弁護人の岡林辰雄、大塚一男両自由法曹団弁護人が第一回公判に公判期日の延期五項目を挙げて裁判長忌避を申し立てたが却下されたため『責任をもつて弁護することは出来ない』との理由で裁判長あてに突然辞任届けを提出した

この問題で開廷劈頭から紛争を極め、被告らは口々に発言を求めて『弁護人なしで公判を開くのか』と怒号すれば裁判長は『開廷と審理ということは別だ』と返答、激昂した被告は『そんなことはどうでもよい、今日はこのまま止めてしまえ』とそれぞれ口走り陪席の恒次判事から裁判長と被告らの意見のくい違いの説明を行つたが被告は『今後の打合せをするから休憩してくれ』とわめき朴重根被告が『こんなことで吾々が不和雷同している必要はないのだ、出欠をうけるだけならば弁護人が居なくても不利ではないと思う』と被告らの騒ぎを苦にして制止すれば『君は何を言うのだ、同じ被告ではないか』と昂奮した被告は総立ちとなるや裁判長は十五分の休廷を宣した、再開後鈴木（孝）被告から

❶今までの召喚状を白紙にかえして欲しい

❷次期日を法廷内で我々と相談して決定して欲しい

と要求、更に添田被告から次回期日は『我々が私選弁護人を選任するまで待つてくれ』と申し入れがあり、これに対して裁判長は

❶九月五日までに私選弁護人を選任するかどうか決定して裁判所に連絡すること

❷貧困で私選弁護人を選任出来ない場合は裁判所で選任してやることができる

❸九月五日までに選任届けのない場合、弁護人がなくて裁判出来ない場合は職権で裁判所が官選弁護人をもつて行う

と述べて十二時十五分閉廷となつた

闘争組から また二名離脱

平事件徹底闘争組被告の元朝連湯本分会委員長朴重根（[illegible]）元朝連民主青年同盟平支部内郷分会委員長朴鐘根（[illegible]）＝いずれも率先助勢＝の両名は二十日午後、山田裁判長に分離審理を申請、九月六日の分離組公判に併合されて審理されることになつた、分離組はこれで三十六名となつた

レコードは[illegible]

外勤職員採用
第一生命平支部
平市南町七一 電話三二〇番

最高級品
ブラザー
トヨタ
チューキ
パイン
石川ミシン商會
平市二丁目 電一三三

生ビール
中央通 東竜軒 電1136

精工舍の時計
平一 トキワヤ時計店

輕い氣分で
一寸一杯！
酒の店
たに川
平市材木町桜小路（第一公園下）

TRADE MARK
ヘルス石鹸
代理店 平市 さかいや

にきび いほ
オーラム
キン B
平市銀座
あこう藥局
ほくろ そばかす

看護婦募集
外科
胃腸科 呼吸器科
整形外科
放射線科
松田病院
小名浜町駅前通り 電四三四
松田武一
春山廣臣
今村敏春

◇良品廉売に優る商略なし◇
神戸本場牛
特約店
第一緑屋 平市一丁目 電話五三九
第二緑屋 平市中央通 電話七九四

看護婦募集
産婦人科
性病科
外科
久保田産婦人科醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
小名濱町横町 電一二

創業30年
やつぱり時計は
金光堂
五丁目 電一九五
…特約店…
×時計はセイコー
×レコードは各社
×メガネは日光
×電球はマツダ

外科
內科
産婦人科
（入院随意）
前田醫院
植田町本町通 電話二一四番

靴
專門店
菊一
平市三丁目 電446

外科
産婦人科
入院随意
植田町本町四三 電話四七番
胃腸外科
整形外科
放射線科
永井醫院